



信頼され期待される 市立病院を

武下 涼

武下 新型コロナウイルス感染症の発生・拡大の下で、あらためて概括的に市立病院の対応や地域医療への責務を果たしてきたか。教訓と課題をどのように捉えているか。

病院事務局長 市民の健康を守るため、新型コロナの検査にいち早く対応し、発熱外来や感染症患者の受入れ、ワクチン接種など、積極的に取組を進めてきた。感染管理の認定看護師の配置をはじめ、今年度からは急性呼吸器感染症の発生状況を把握する医療機関としての役割を果たすなど、感染症への対応に力を注いでいる。

武下 病院経営の改善、持続可能な病院事業に向けた取り組みはどのようか。

病院事務局長 地域の中核病院としての使命を果たすべく、蕨市立病院経営強化プランの下、医師の確保や地域包括ケア病床への一部転換、地域医療連携のさらなる強化、平時か

らの感染症対応など、持続可能な地域医療提供体制の確保に向けて取り組んでいる。

武下 進展する少子高齢化に対する本市立病院の役割をどのように捉え、医療サービスを提供していく考えか。

病院事務局長 今後も産科、小児科は大きな強みになる。超高齢社会においては、「治し支える」医療に力を注ぐ、誰もが安心して暮らせるまちの実現を支えていく。

武下 自治体病院にユースクリニク的な意義のある取組はできないか。

病院事務局長 課題の解決に向けた検討をしていきたい。

武下 病院側の経営努力の過程も含めてホームページの活用が重要であるがどうか。

病院事務局長 十分認識し分かりやすく、伝えることは必要である。



エコシティわらびへ ～気候変動・地球温暖化対策の推進を

やまわき紀子

やまわき 衣類や子ども服、中学校の制服などのリユースを進めてほしいと思うがどうか。

市民生活部長 子育て・教育の関連部局と連携を図り、効果的で実効性のある取り組みが実施していきたい。

やまわき 衛生センターでの生ごみバケツのたい肥化の利用状況はどうか。気軽にできる段ボールコンポストの取組を進めることはできないか。

市民生活部長 24年度58世帯587杯分。本市の住宅事情等も考慮しながら、慎重に見極めていく必要がある。

◆「子育てするならわらび」子育て支援策の充実を

やまわき 保育園・留守家庭児童指導室の不承諾者数と待機児童数はどうか。

健康福祉部長 令和7年4月1日現在の不承諾者数は、0歳児6人、1歳児28人、2歳児2人、3歳児2人の合計38人で

あり、待機児童数は0人。不承諾者数は新規入室希望者8人、継続希望者59人の合計67人。

◆地域の要望について

やまわき ファミリー菜園においてマナー違反が見受けられた場合の注意方法や対応されない場合の対処方法を明確に実行してほしい。

市民生活部長 マナー違反への迅速かつ適切な対応を心がけ、適切な管理に努めていく。

やまわき タバコの吸い殻のポイ捨てについて、近隣住民はなかなか注意できないという声がでているが、看板等の効果的な対処を検討できないか。

市民生活部長 看板等の効果的な対処方法の検討は、相談者の意向や現場の状況などを確認した上で、丁寧な対応を図っていきたい。

◆他に「道路や公園等樹木の安全管理について」質問。



暮らし・営業を支える 物価高騰対策を

鈴木 智

鈴木 物価高騰の下、暮らしと営業を支えるさらなる対策についての見解は。また、国保税、水道料金、下水道使用料の見直しの際、市民生活への物価高騰の影響を考慮すべきではないか。

頼高市長 独自に児童扶養手当受給世帯への子ども一人当たり2万円の給付を実施。なるべく経費

を抑え、財源を給付に充てられる事業としてプレミアム付きデジタル商品券事業も進めている。一方で国でも物価高騰対策が問題になる厳しい状況もある。市民の暮らしを支えるのが地方自治体の一番大事な仕事であり、今の事業を実施したうえで、その後の状況や国の対策等を踏まえ、さらなる対

策も考えたい。

総務部長 物価高騰等の影響を踏まえ、急激な負担増とならないよう慎重に検討したい。

鈴木 高齢者世帯等への民間賃貸住宅家賃助成制度における家賃基準と助成額等の見直しが必要と考えるが見解はどうか。

健康福祉部長 契約更新時の家賃の変化等調査の結果を参考に必要に応じて見直しを図っていききたい。

鈴木 国の責任は重大。生活保護や年金の給付引き上げも必要。ぜひ国に要望してほしい。

◆戦後80年・平和都市宣言40周年の平和事業について

鈴木 差別や偏見、分断と対立が広がり、戦争や紛争が深刻化する情勢の下、戦後80年、平和都市宣言40周年という節目の意義は特に重要。本市の取り組みはどのようか。

総務部長 記念式典とコンサートを行なう。平和都市宣言を未来につなぎ平和を考える機会として多くの方にご来場いただけるよう準備をすすめたい。

◆他に「ごみ散乱対策」「高齢者等への住居支援」など。